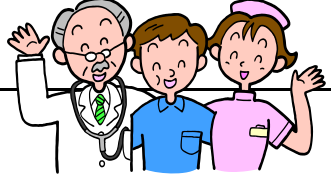


下部消化管出血の看護ケアマップ

ID @PATIENTID

患者名 @PATIENTNAME

月/日	/		/	
経過	入院当日	治療2～4日目	治療4～7日目	退院日
達成目標	◇安静や食事制限が守れる ◇腹痛・腹部のはり・出血などの異常を医療者に伝えることができる	◇腹痛・腹部のはり・出血などの異常を医療者に伝えることができる	◇治療後の方針が決定されている	◇出血や腹痛などがみられない
観察	体温、血圧、脈など測定します。出血していないか観察したいので、排便時看護師に見せるようお願いします。			
安静度	医師の許可があればポータブルトイレまで降りることができます。なるべく安静に過ごしましょう。	出血がなく、採血や検査結果によって医師の許可があればトイレまで歩行が可能になります。	医師の許可があれば病棟内を自由に歩くことができます。	腹圧のかかること(トイレで力む、重いものを持つ)・激しい運動(ジョギングや水泳など)は避けて下さい。
食事	医師の指示があるまで欠食です。飲水は可能です。場合によっては飲水不可です。	出血がなく、採血や検査結果によって医師の許可があれば消化の良い食事が始まります。	医師の許可があれば徐々に元の食事に戻っていきます。	禁煙、禁酒です。しばらくは消化が良く刺激の少ない食事をよく噛んで食べましょう。
清潔	体を拭くお湯を配ります。	回復の状態に合わせてシャワーができます		
排泄	尿回数、便回数を教えて下さい。排便時は、流さずにトイレのナースコールでお知らせください。便を観察します。			
治療・薬剤処置	常備薬を確認します。(中止が必要な場合があります)点滴治療や抗生物質投与を行います。検査結果や出血の状況によって輸血を行う場合があります。		出血なく、食事が摂取できていて医師の許可があれば点滴は終了です。	抗凝固剤や抗血栓剤を服用していた人で医師の指示により中止していた場合は医師に再開の指示を確認します。
検査	医師の指示によって採血・大腸カメラなどの検査があります。			
説明	検査によって同意書が必要な場合があります。同意書がある場合はお渡しします。署名後、看護師に提出をお願いします。検査時は入れ歯や指輪などの貴金属類は外して下さい。検査時は緑の検査衣に変更してもらいます。(大腸カメラの場合は紺色のズボンに着替えます)大腸カメラを行う場合、カメラの前に下剤の内服や浣腸など行います。			【退院後の生活について】決められた外来受診日に受診しましょう。腹痛、発熱が続くときお腹のはり、出血があるときなどおかしいと感じたら消化器外来に連絡しましょう。

平成 年 月 日

市立四日市病院